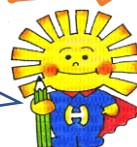


第5回学園運営協議会

学校評価アンケートに基づいた今後の方向性



よしださん

家庭がアンケートに答える時に、「チャレンジ10」の取組とアンケートのチャレンジの項目をリンクして考えているかどうか疑問である。学園での取組と設問のつながりが分かりにくい項目があるため、設問の文言を工夫する必要があると思う。

【教育支援部】サポーターの方に見通しをもって参加してもらえるように、日の里カリキュラムの全体像を示し、日程を早めに周知していく必要がある。サポーター同士の関わりも増やしていきたい。子供に関わってもらうことが、サポータの生きがいや居場所づくりにもなるようにしていきたい。

教育支援部



協働部



【協働部】学園と地域との協働活動を行うことで、学園での教育活動に厚みが出ている。地域との関わりの評価項目で子供の評価が低いのが疑問である。子供は、評価をする時に、学習の中で地域と関わったことを省いて考えているのではないか。子供が答えやすいような文言を精査する必要があると思う。また、日の里カリキュラムの成果と課題を常に更新していくことが大切である。

【地域貢献部】よりよい学校評価にするために、学園の教育目標に向かって、どんな項目が必要であるか再考する必要がある。保護者が答える項目については、保護者の代表の意見も取り入れて作成するとよいのではないか。子供たちの地域での活動の様子を地域側から発信し、更に地域参加・貢献できるような働きかけをしていきたい。

地域貢献部



もりさん

学校運営協議会の中心は、学校関係者評価をいかに行うかである。アンケート結果をもとに、学園の自己評価を行い、自己評価をもとに、学校だけではできないことを、家庭では、地域ではこうしていこうという意見を出していけたら更によいと思う。評価は改善のためにある。今回のように、評価のことで議論できる日の里学園の学園運営協議会は、レベルが高いと思う。